

科目名	教育原理	科目コード	1301	単位数	2
担当者名	堂徳 将人	開講semester	第3semester	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

本講座では、はじめに現代学校教育の課題について整理し、次に、教育の意義や可能性、教育理念や教育思想の系譜、ヨーロッパ教育思想の源泉と教育の歴史について概観していく。その際、抽象的な内容に陥ることなく、学校現場で生きて働く知恵として活用できるように実践的・具体的にとらえ方ができるよう展開していく。

● 到達目標

教育の基本的概念を身に付け、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を説明できる。教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育理念との関わりや、教育及び学校の変遷を説明できる。教育に関する様々な思想を概観し、多様な教育理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。これらを活用して、現実の教育及び学校の課題を解決しようとする意欲と態度を培う。

● 授業内容

- 1週目 現代の学校教育の課題 リエンション 改正教育基本法の背景と課題
- 2週目 成熟する日本型学歴社会の特色と課題、激変する社会と教育の課題  
高大接続の一体的改革の現状と課題 (調査・発表)
- 3週目 教育の意義 教育とは何か 社会化・人格化・生の保全と援助(デュルケム・レールス・シュブランガー)
- 4週目 教育の可能性と限界 行動主義と生得主義 (調査・発表)  
教育の必然性 進化的行動論から見た人間の互恵性 (研究協議)
- 5週目 教育の歴史と思想 ソクラテス(産婆術) プラトン(イデア:洞窟の比喩)
- 6週目 コメニウス(近代教育の父)(調査・発表)  
ルソー(子どもの発見者)(レポート作成)
- 7週目 ベスタロッチ(教育愛の権化)(調査・発表)  
ヘルバルト(5段階教授法)
- 8週目 デューイ(道具としての知識)  
プログマティズム(レポート作成)
- 9週目 イギリス・フランス・ドイツ・アメリカの公教育制度の成立と特色(レポート作成)
- 10週目 アメリカの新教育運動の展開と第二次大戦後の教育改革の歴史(調査・発表)
- 11週目 日本の教育の歴史NO1(近代公教育の成立・発展と欧米の教育に関する思想・歴史の影響)
- 12週目 日本の教育の歴史NO2(戦後の教育改革から1980年代まで)  
日本の教育の歴史NO3(臨教審以降の教育改革)

- 13週目 現代日本の教育課題と展望 学校・家庭・地域の教育力と協働の必要性(調査・発表)
- 14週目 現代日本の教育課題と展望 変わる社会に生きる力を育む子ども・学校・家庭・地域・社会との関係を創る(レポート作成)
- 15週目 まとめ 教育原理に係る調査・発表と質疑応答 教育の基本的概念、教育理念、教育の歴史や思想とこれからの教育及び学校を考える
- 16週目 総まとめ(課題の返却、ポートフォリオ・履修カルテの作成など)。ただし、やむを得ず15週目までの授業が出来なかった場合、補講を行います。

● 準備学修(予習・復習)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習は、テキストの事前学習を行うとともに、指示により予習課題に取り組むこと(毎時間1.5時間程度)。復習は、毎時間配付するプリント(授業の要点等)に取り組むとともに、指示によりレポートの作成・調査・発表などを行う(毎時間0.5時間程度)。まとめでは、履修カルテとポートフォリオを作成する。なお、予習課題の一部はCourse Powreに公開するので、あらかじめ確認すること。

● 成績評価の方法・基準

成績評価は、試験結果、授業への参加態度、毎時間配付する課題プリント、各種提出物、レポートの作成や調査・発表、質疑応答などにより、総合的に評価します。

● 履修上の留意点

本講座は、教育の基礎理論の習得と現場での活用を目指して行うことから、偏りのない幅広い理解が求められるので、毎時間の意欲的な参加はもとより、予習・復習が大切です。

● 課題に対するフィードバックの方法

毎時間配布する課題プリントや各種提出物については、評価・コメント等を記載して次時にフィードバックするので、それらを活用してポートフォリオを作成するなど、形成的評価の励行を行うことが大切です。

● テキスト

佐々木正治著『新中等教育原理』(福村出版)2200円(本テキストは教師論と同じです。)

● 参考書

- 柴田義松、斎藤利彦編『教育史』(学文社)1500円
- 佐々木晴雄著『現代教育概論』(学陽書房)2730円

● 更新日付

2022/03/10 04:02